(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2012-254032
(P2012-254032A)
(43)公開日　平成24年12月27日(2012.12.27)

(51)Int.Cl.		F I			テーマコード（参考）
A21B 3/13	(2006.01)	A21B	3/13		4B040
A47J 37/00	(2006.01)	A47J	37/00	301	
A47J 37/01	(2006.01)	A47J	37/01		

審査請求 未請求　請求項の数 6　ＯＬ　（全 20 頁）

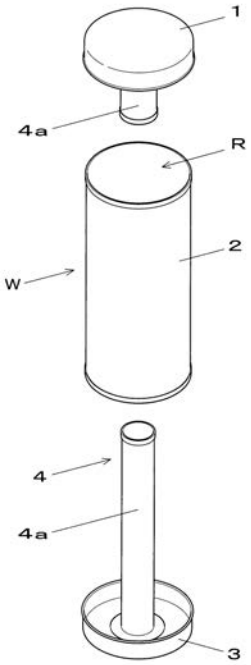
(21)出願番号　特願2011-128534 (P2011-128534)
(22)出願日　平成23年6月8日 (2011.6.8)

(71)出願人　391028719
株式会社タイガークラウン
新潟県燕市小池３３３０番地４
(74)代理人　100092691
弁理士　黒田　勇治
(72)発明者　小林　彰
新潟県燕市小池３３３０番地４　株式会社タイガークラウン内

Ｆターム(参考)　4B040 AA03　AB04　AC01　AE04

(54)【発明の名称】パン用焼き型

(57)【要約】
【課題】上壁体、囲壁体及び底壁体により囲まれた焼き型の内部空間にパン生地を詰めて焼き上げることになり、この際、上記焼き型の内部空間に内筒体を配置してなるから、上壁体、囲壁体及び底壁体並びに内筒体により囲まれた焼き型の内部空間にパン生地を詰めて焼き上げることにより、焼き上がったパンに詰入穴を形成することができ、この詰入穴にサラダ、ジャム類、乳製品などの各種の具材を詰入することができ、パンの全体形態の斬新性、審美感、食の演出性を向上することができる。
【解決手段】上壁体１、囲壁体２及び底壁体３からなり、これら各壁体により囲まれた内部空間Ｒにパン生地Ｋを詰めて焼き上げる焼き型Ｗにおいて、焼き型の内部空間に焼き上がったパンＰにサラダ、ジャム類、乳製品などの各種の具材Ｇを詰入するための詰入穴Ｍを形成する内筒体４を配置してなる。
【選択図】図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
上壁体、囲壁体及び底壁体からなり、これら各壁体により囲まれた内部空間にパン生地を詰めて焼き上げる焼き型において、上記焼き型の内部空間に焼き上がったパンにサラダ、ジャム類、乳製品などの各種の具材を詰入するための詰入穴を形成する内筒体を配置してなることを特徴とするパン用焼き型。
【請求項２】
上記焼き型は、円筒状の囲壁体、有底円筒状の上壁体及び有底円筒状の底壁体からなり、上記内筒体は該上壁体及び該底壁体の各内面に突設されて相互に摺動嵌合自在な一対の内筒半体からなることを特徴とする請求項１記載のパン用焼き型。
【請求項３】
上記焼き型の囲壁体は異形円筒状に形成されていることを特徴とする請求項２記載のパン用焼き型。
【請求項４】
上記焼き型の異形円筒状の囲壁体は断面花びら状に形成されていることを特徴とする請求項３記載のパン用焼き型。
【請求項５】
上記焼き型は、四つの四角板状の側面材からなる囲壁体、四角板状の上壁体及び四角板状の底壁体からなり、上記内筒体は上記底壁体上に配置される内面材に突設されていることを特徴とする請求項１記載のパン用焼き型。
【請求項６】
上記内筒体は円筒状、四角筒状又は異形円筒状に形成されていることを特徴とする請求項１～５のいずれか１項に記載のパン用焼き型。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、例えば、サラダ、ジャム類、乳製品などの各種の具材を詰入する詰入穴をもつパンを焼き上げることのできるパン用焼き型に関するものである。
【背景技術】
【０００２】
従来、この種のパン用焼き型として、例えば、鉄やアルミニウムなどの金属製にして、上壁体、囲壁体及び底壁体からなり、これら各壁体により囲まれた内部空間にパン生地を詰め、オーブン等により焼き上げ、パンを製造する構造の焼き型が知られている。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特開平６－３４３３８１号公報
【特許文献２】特開平４－１５６８０５号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
しかしながら、これら従来構造の場合、直方体状、円盤状など、種々の外観形状のパンを製造し、これを数枚に切截し、各種の具材を挟んだり、乗せたりして、サンドイッチとして食することはできるものの、いままでからあるありふれた形状となって、パンの全体形態の斬新性、審美感、食の演出性に乏しいとされることがあるという不都合を有している。
【課題を解決するための手段】
【０００５】
本発明はこのような不都合を解決することを目的とするもので、本発明のうちで、請求項１記載の発明は、上壁体、囲壁体及び底壁体からなり、これら各壁体により囲まれた内

部空間にパン生地を詰めて焼き上げる焼き型において、上記焼き型の内部空間に焼き上がったパンにサラダ、ジャム類、乳製品などの各種の具材を詰入するための詰入穴を形成する内筒体を配置してなることを特徴とするパン用焼き型にある。

【０００６】

又、請求項２記載の発明は、上記焼き型は、円筒状の囲壁体、有底円筒状の上壁体及び有底円筒状の底壁体からなり、上記内筒体は該上壁体及び該底壁体の各内面に突設されて相互に摺動嵌合自在な一対の内筒半体からなることを特徴とするものであり、又、請求項３記載の発明は、上記焼き型の囲壁体は異形円筒状に形成されていることを特徴とするものであり、又、請求項４記載の発明は、上記焼き型の異形円筒状の囲壁体は断面花びら状に形成されていることを特徴とするものである。

【０００７】

又、請求項５記載の発明は、上記焼き型は、四つの四角板状の側面材からなる囲壁体、四角板状の上壁体及び四角板状の底壁体からなり、上記内筒体は上記底壁体上に配置される内面材に突設されていることを特徴とするものである。

【０００８】

又、請求項６記載の発明は、上記内筒体は円筒状、四角筒状又は異形円筒状に形成されていることを特徴とするものである。

【発明の効果】

【０００９】

本発明は上述の如く、請求項１記載の発明にあっては、上壁体、囲壁体及び底壁体により囲まれた焼き型の内部空間にパン生地を詰めて焼き上げることになり、この際、上記焼き型の内部空間に内筒体を配置してなるから、上壁体、囲壁体及び底壁体並びに内筒体により囲まれた焼き型の内部空間にパン生地を詰めて焼き上げることにより、焼き上がったパンに詰入穴を形成することができ、この詰入穴にサラダ、ジャム類、乳製品などの各種の具材を詰入することができ、パンの全体形態の斬新性、審美感、食の演出性を向上することができる。

【００１０】

又、請求項２記載の発明にあっては、上記焼き型は、円筒状の囲壁体、有底円筒状の上壁体及び有底円筒状の底壁体からなり、内筒体は上壁体及び底壁体の各内面に突設されて相互に摺動嵌合自在な一対の内筒半体からなるので、パン生地の詰入及び焼き上がったパンの取り出しを容易に行うことができ、又、請求項３記載の発明にあっては、上記焼き型の囲壁体は異形円筒状に形成されているから、パンの全体形態の斬新性を高めることができ、又、請求項４記載の発明にあっては、上記焼き型の異形円筒状の囲壁体は断面花びら状に形成されているから、これを数枚に切截したとき、花びら状のパンとなり、一層、食の演出性を向上することができる。

【００１１】

又、請求項５記載の発明にあっては、上記焼き型は、四つの四角板状の側面材からなる囲壁体、四角板状の上壁体及び四角板状の底壁体からなり、上記内筒体は上記底壁体上に配置される内面材に突設されているから、詰入穴が形成された四角ブロック状のパンを作ることができ、パンの全体形態の斬新性、審美感、食の演出性を向上することができる。

【００１２】

又、請求項６記載の発明にあっては、上記内筒体は円筒状、四角筒状又は異形円筒状に形成されているから、種々形状の詰入穴を得ることができ、パンの全体形態の斬新性を高めることができる。

【図面の簡単な説明】

【００１３】

【図１】本発明の実施の第一形態例の分解斜視図である。

【図２】本発明の実施の第一形態例の斜視図である。

【図３】本発明の実施の第一形態例の断面図である。

【図４】本発明の実施の第一形態例の断面図である。

【図５】本発明の実施の第一形態例の上壁体を外した状態の平面図である。
【図６】本発明の実施の第一形態例のパンの斜視図である。
【図７】本発明の実施の第二形態例の分解斜視図である。
【図８】本発明の実施の第二形態例の上壁体を外した状態の平面図である。
【図９】本発明の実施の第二形態例のパンの斜視図である。
【図１０】本発明の実施の第三形態例の分解斜視図である。
【図１１】本発明の実施の第三形態例の斜視図である。
【図１２】本発明の実施の第三形態例の断面図である。
【図１３】本発明の実施の第三形態例の上壁体を外した状態の平面図である。
【図１４】本発明の実施の第三形態例の側面図である。
【図１５】本発明の実施の第三形態例のパンの斜視図である。
【発明を実施するための形態】
【００１４】
図１乃至図１５は本発明の実施の形態例を示し、図１乃至図６は第一形態例、図７乃至図９は第二形態例、図１０乃至図１５は第三形態例である。
【００１５】
図１乃至図６の第一形態例において、Ｗは焼き型であって、上壁体１、囲壁体２及び底壁体３からなり、これら各壁体１・２・３は、それぞれ金属製にして、囲壁体２の上面に上壁体１が嵌脱自在に設けられ、囲壁体２の下面に底壁体３が嵌脱自在に設けられ、各壁体１・２・３により囲まれた内部空間Ｒにパン生地Ｋを詰めて焼き上げることになる。
【００１６】
４は内筒体であって、金属製にして、上記焼き型Ｗの内部空間Ｒに配置され、上記焼き上がったパンＰにサラダ、ジャム類、乳製品などの各種の具材Ｇを詰入するための詰入穴Ｍを形成することになる。
【００１７】
この場合、上記焼き型Ｗは、円筒状の囲壁体２、有底円筒状の上壁体１及び有底円筒状の底壁体３からなり、上記内筒体４は上壁体１及び底壁体３の各内面に突設されて相互に摺動嵌合自在な一対の内筒半体４ａ・４ａからなる。
【００１８】
又、この場合、上記内筒体４は円筒状に形成されている。なお、四角筒状又は異形円筒状に形成することもでき、これにより、種々形状の詰入穴Ｍを得ることができる。
【００１９】
この実施の第一形態例は上記構成であるから、上壁体１、囲壁体２及び底壁体３により囲まれた焼き型Ｗの内部空間Ｒにパン生地Ｋを詰めて焼き上げることになり、この際、上記焼き型Ｗの内部空間Ｒに内筒体４を配置してなるから、図５の如く、上壁体１、囲壁体２及び底壁体３並びに内筒体４により囲まれた焼き型Ｗの内部空間Ｒにパン生地Ｋを詰めて焼き上げることにより、図６に示す如く、焼き上がったパンＰに詰入穴Ｍを形成することができ、この詰入穴Ｍにサラダ、ジャム類、乳製品などの各種の具材Ｇを詰入することができ、パンＰの形態の斬新性、審美感、食の演出性を向上することができる。
【００２０】
この場合、上記焼き型Ｗは、円筒状の囲壁体２、有底円筒状の上壁体１及び有底円筒状の底壁体３からなり、上記内筒体４は上壁体１及び底壁体３の各内面に突設されて相互に摺動嵌合自在な一対の内筒半体４ａ・４ａからなるので、パン生地Ｋの詰入及び焼き上がったパンＰの取り出しを容易に行うことができる。
【００２１】
図７乃至図９の第二形態例は別例構造を示し、この場合、上記焼き型Ｗの囲壁体２は異形円筒状に形成され、この場合、この囲壁体２は断面花びら状に形成されている。
【００２２】
この実施の第二形態例においても、上記第一形態例と同様な作用効果を得ることができると共に、上記焼き型Ｗの囲壁体２は異形円筒状に形成されているから、パンＰの外観形

態の斬新性を高めることができ、又、この場合、上記焼き型Ｗの異形円筒状の囲壁体２は断面花びら状に形成されているので、これを数枚に切截したとき、花びら状のパンＰとなり、一層、食の演出性を向上することができる。

【００２３】

図１０乃至図１５の第三形態例は別例構造を示し、この場合、図１０、図１２及び図１４の如く、上記焼き型Ｗは、四つの四角板状の側面材２ａ・２ｂ・２ｃ・２ｄからなる囲壁体２、四角板状の上壁体１及び囲壁体２と一体に形成された四角板状の底壁体３からなり、これら各壁体１・２・３は、それぞれ金属製であって、囲壁体２の四辺縁に巻込部Ｎ・Ｎを形成し、上壁体１の対向辺縁に巻込嵌合部Ｆ・Ｆを形成すると共に他の対向辺縁に取手部Ｔ及びストッパ部Ｓを形成し、囲壁体２の上面に上壁体１が摺動嵌脱自在に設けられている。

【００２４】

この場合、上記焼き型Ｗの内部空間Ｒに配置されて上記焼き上がったパンＰにサラダ、ジャム類、乳製品などの各種の具材Ｇを詰入するための詰入穴Ｍを形成する内筒体４は上記底壁体３上に配置される内面材５に突設されている。

【００２５】

この実施の第三形態例においても、上記第一形態例と同様な作用効果を得ることができると共に、図１５に示す如く、詰入穴Ｍが形成された四角ブロック状、この場合、立方体状のパンＰを作ることができ、パンＰの全体形態の斬新性、審美感、食の演出性を向上することができる。

【００２６】

尚、上記内筒体４を円筒状、四角筒状又は異形円筒状に形成することにより種々形状の詰入穴Ｍを得ることができ、パンＰの全体形態の斬新性を高めることができる。

【００２７】

尚、本発明は上記の形態例に限られるものではなく、焼き型Ｗの形態や構造、内筒体４の形態や構造等は適宜変更して設計されるものである。

【００２８】

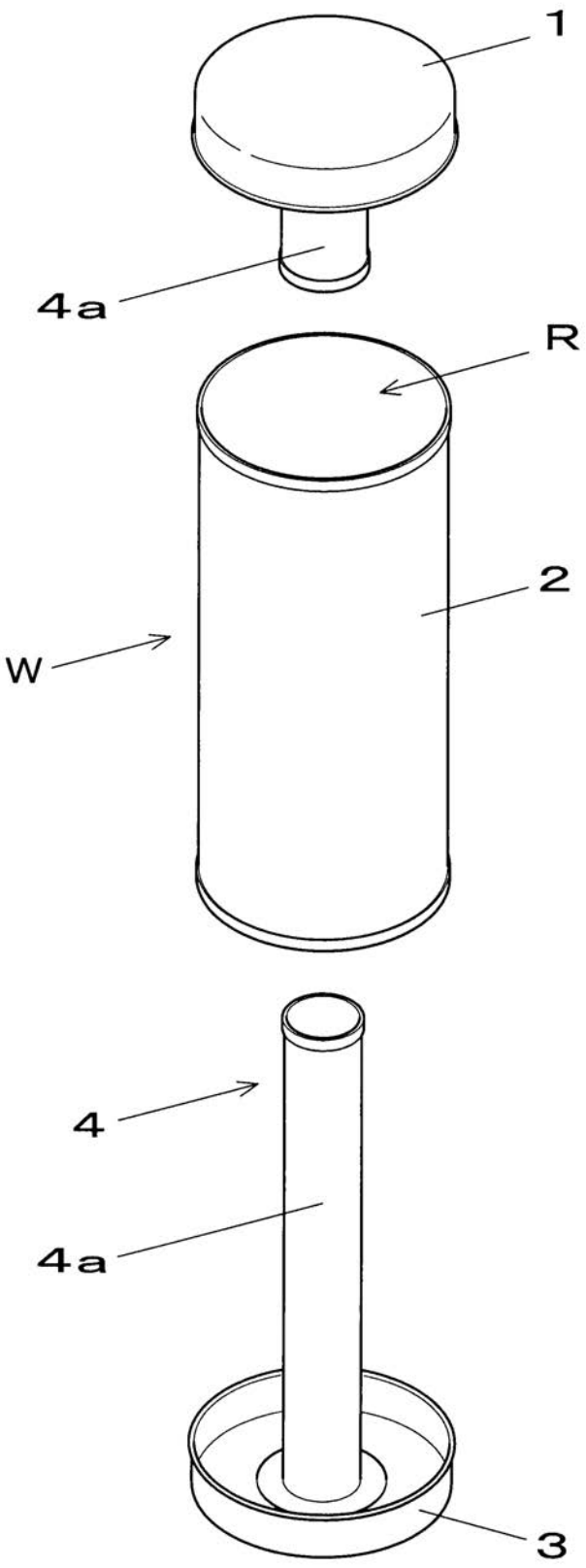
以上の如く、所期の目的を充分達成することができる。

【符号の説明】

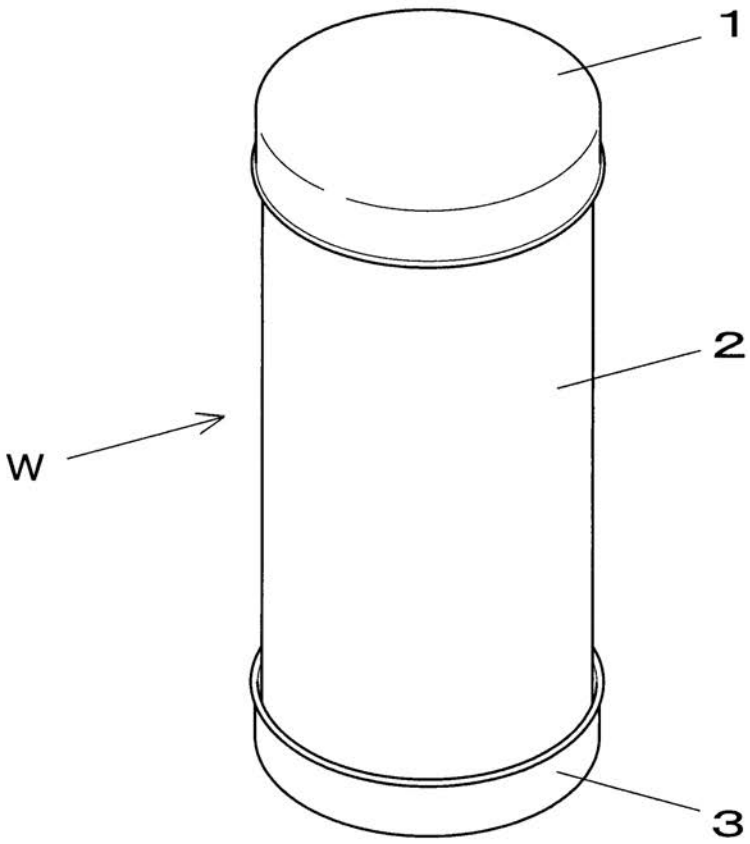
【００２９】

Ｗ　焼き型
Ｒ　内部空間
Ｋ　パン生地
Ｇ　具材
Ｍ　詰入穴
Ｐ　パン
１　上壁体
２　囲壁体
２ａ　側面材
２ｂ　側面材
２ｃ　側面材
２ｄ　側面材
３　底壁体
４　内筒体
４ａ　内筒半体
５　内面材

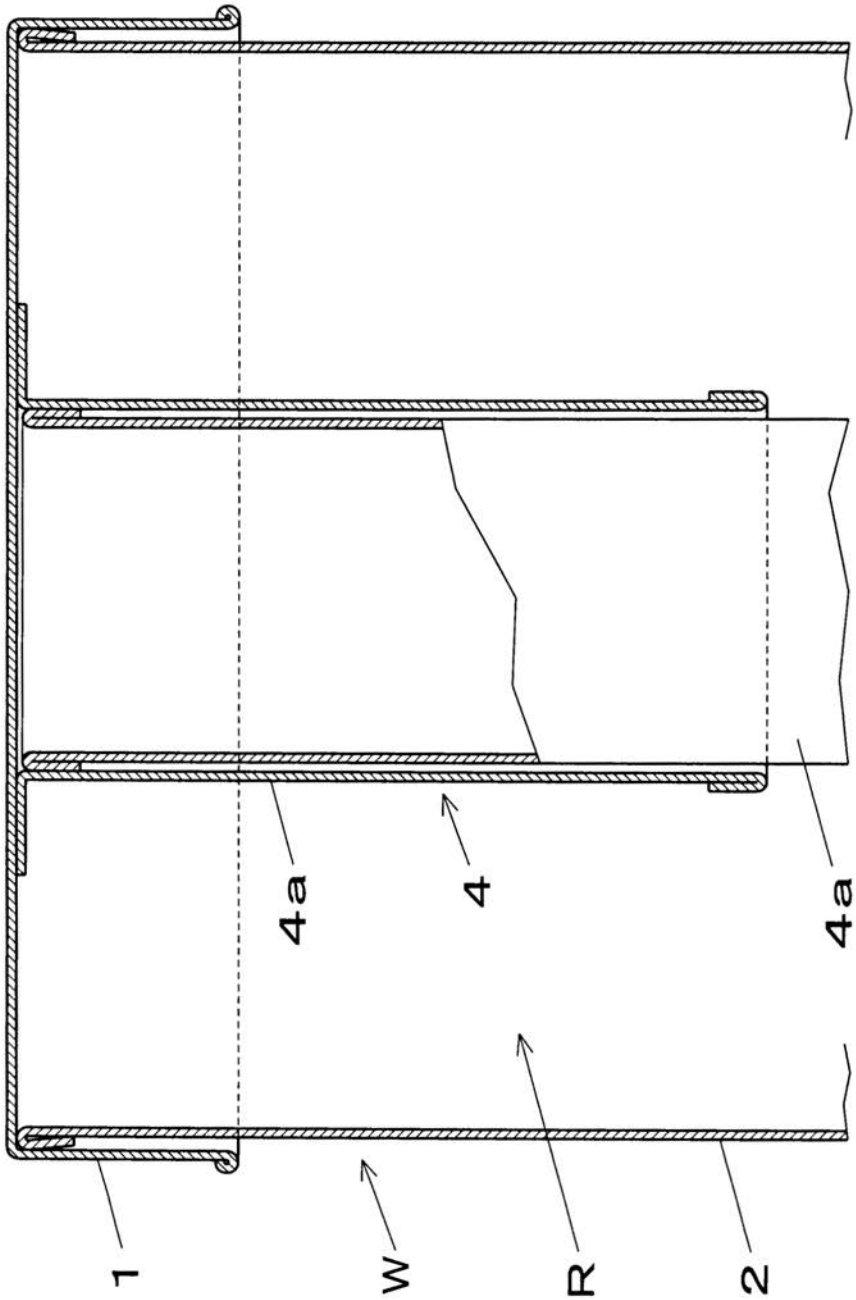
【図１】



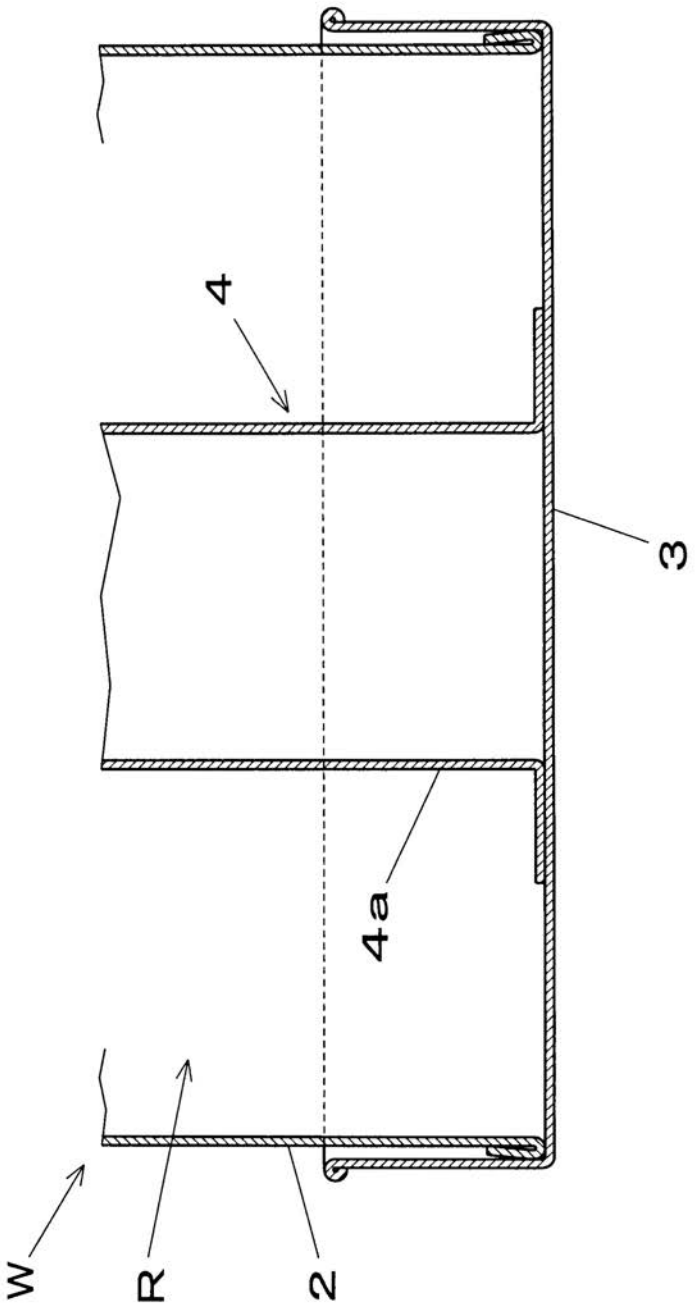
【図２】



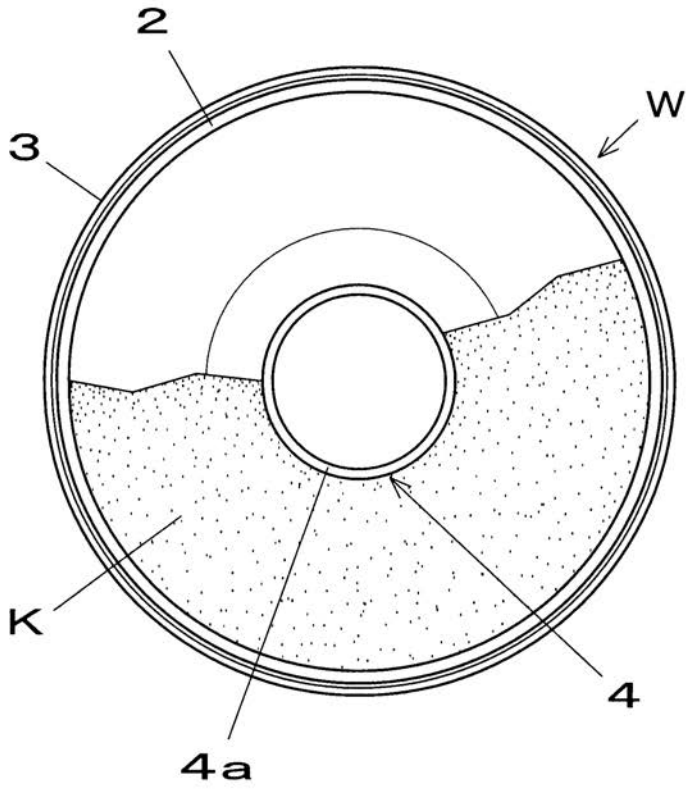
【図３】



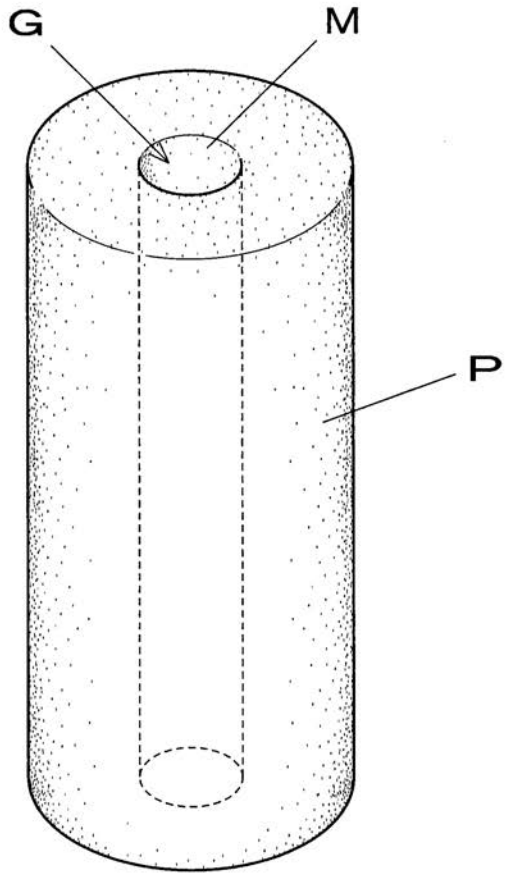
【図４】



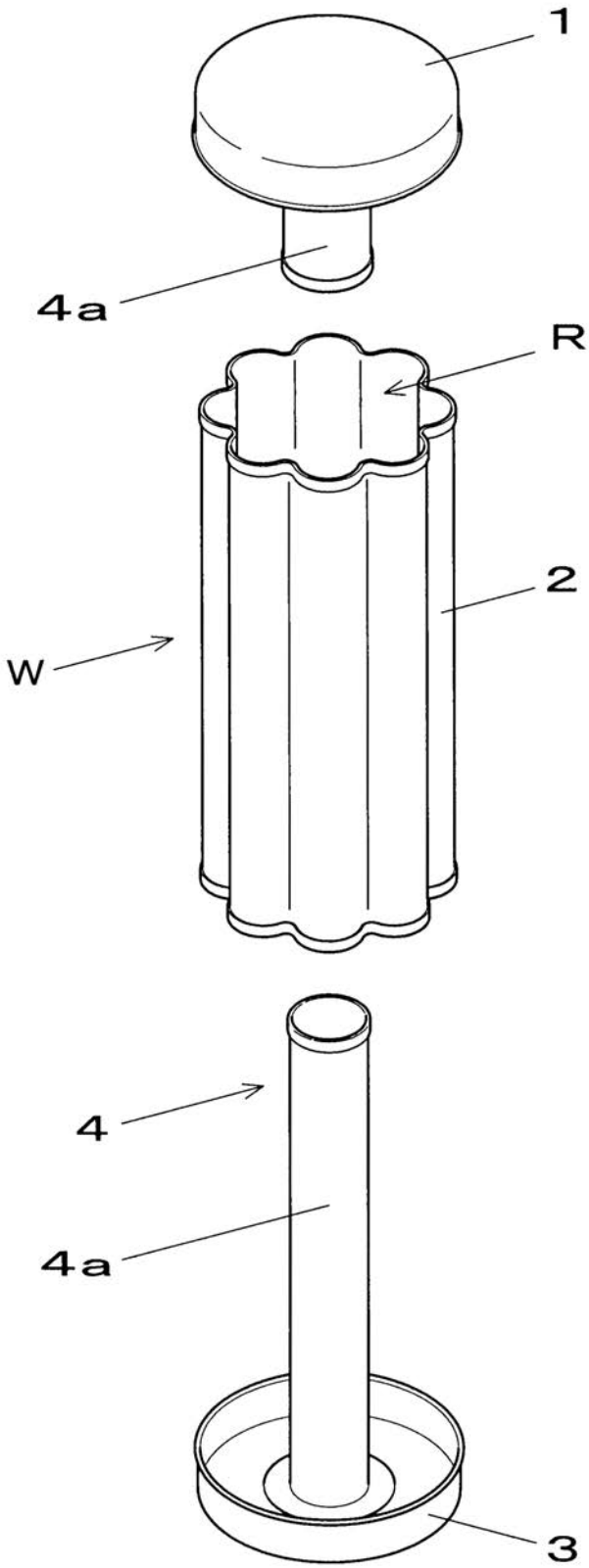
【図５】



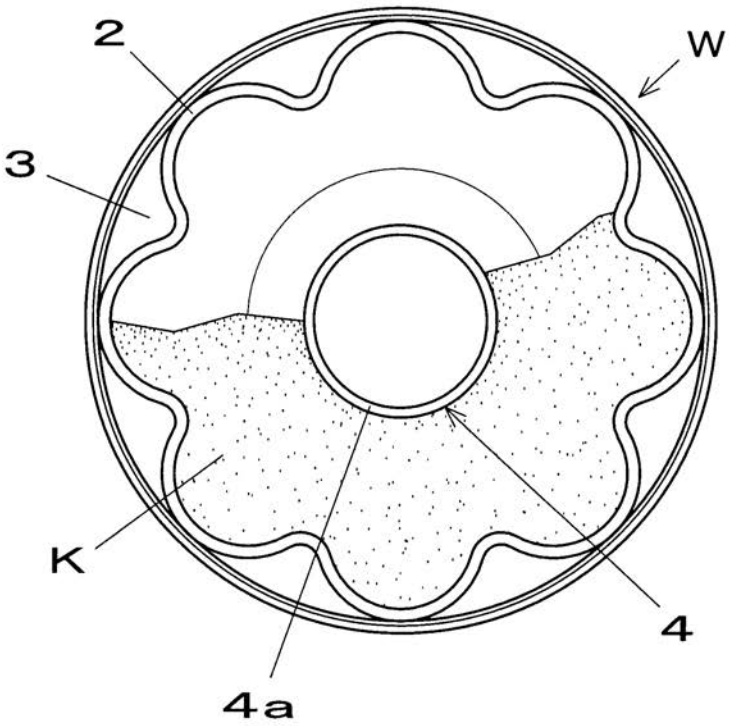
【図６】



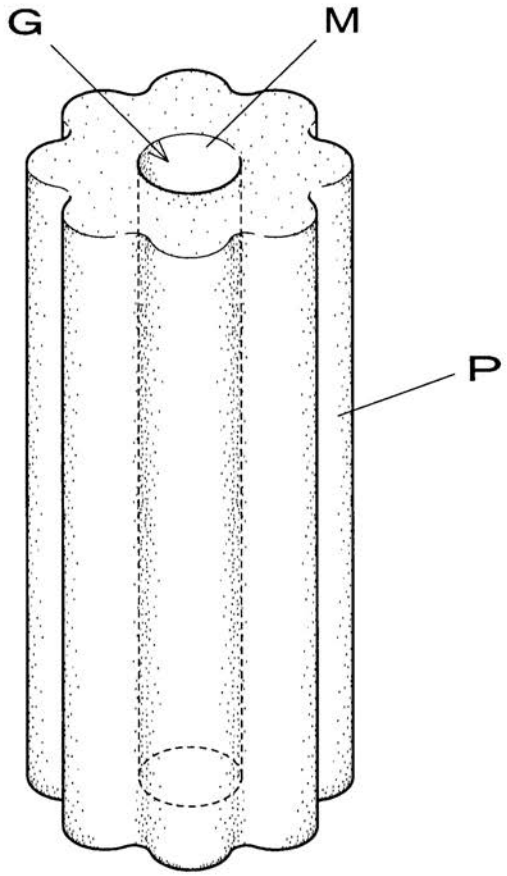
【図７】



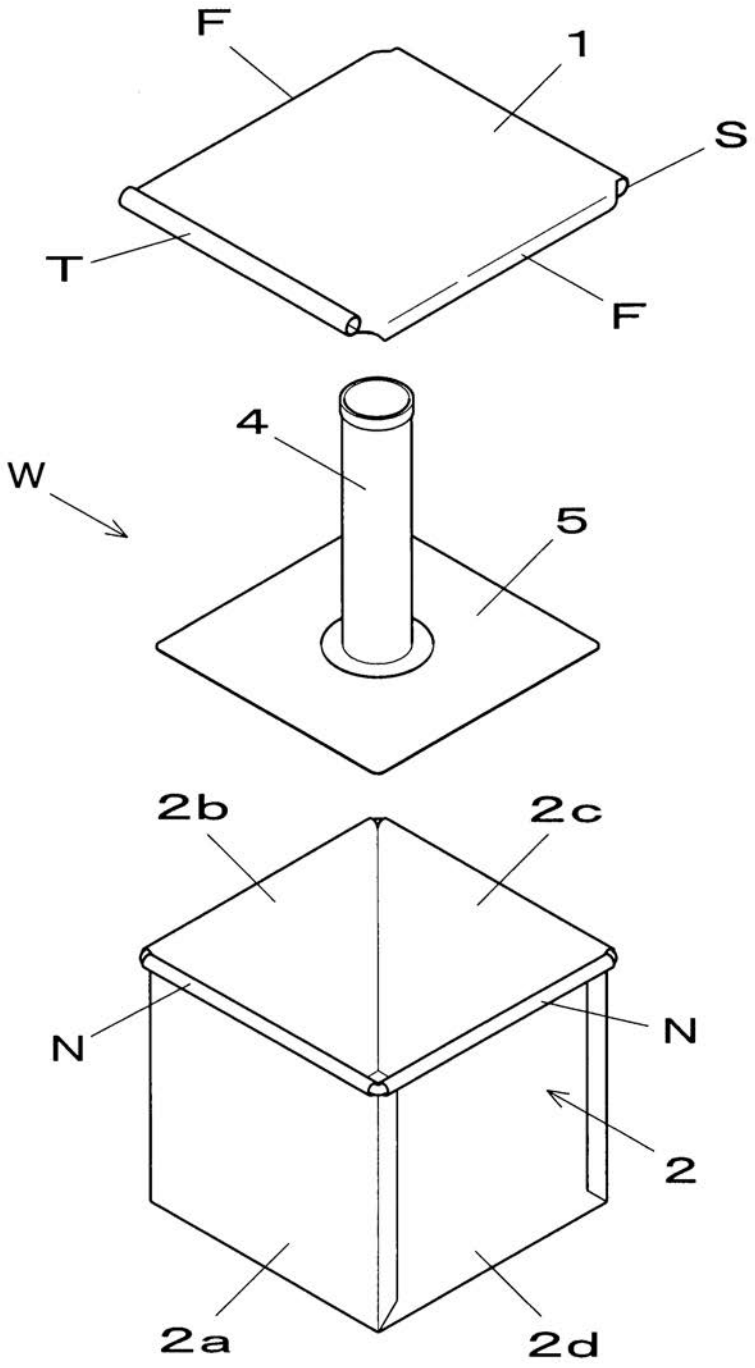
【図８】



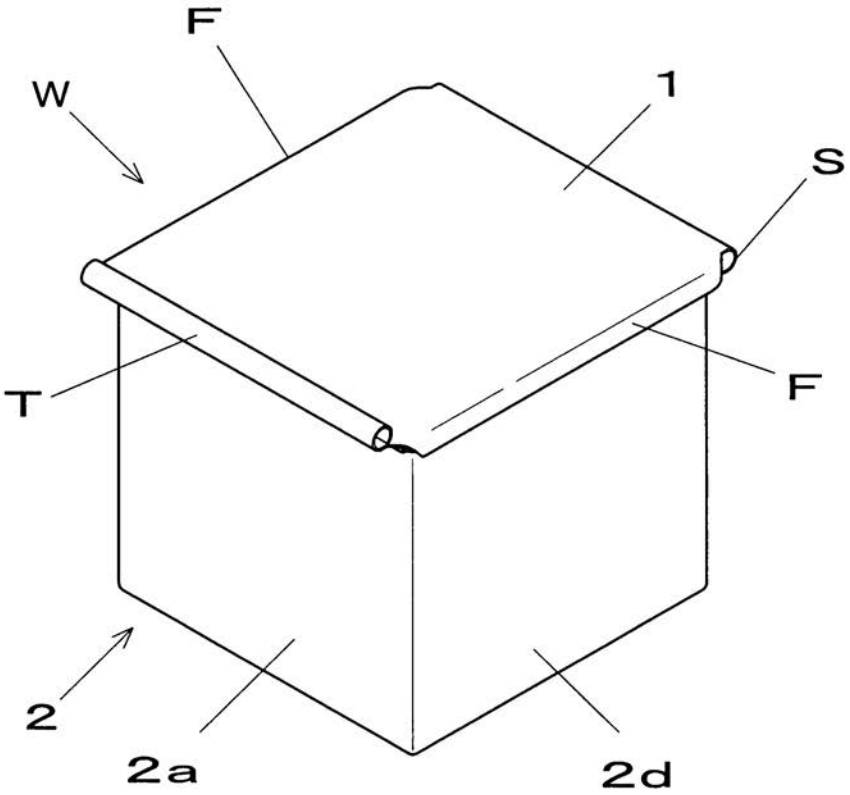
【図９】



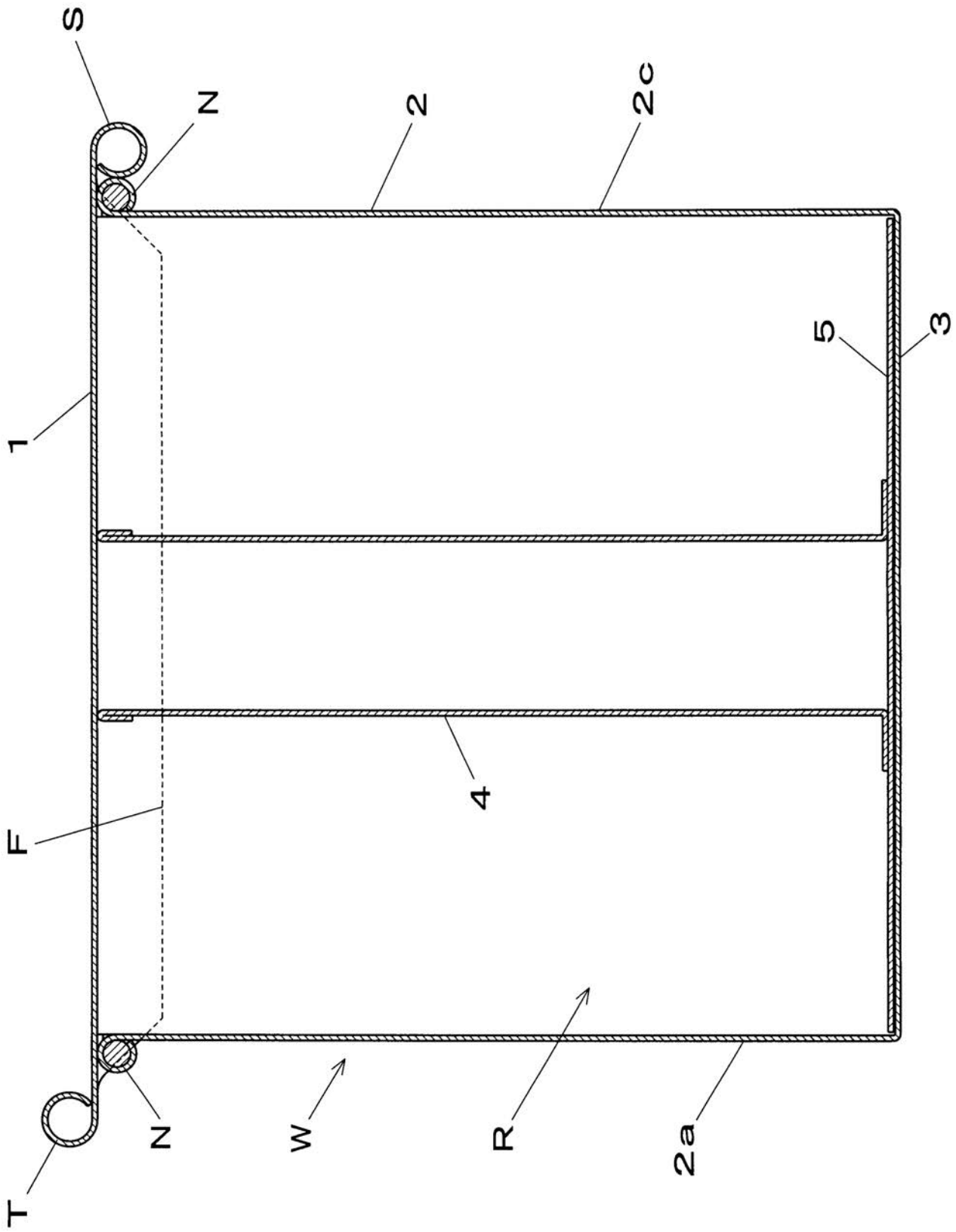
【図１０】



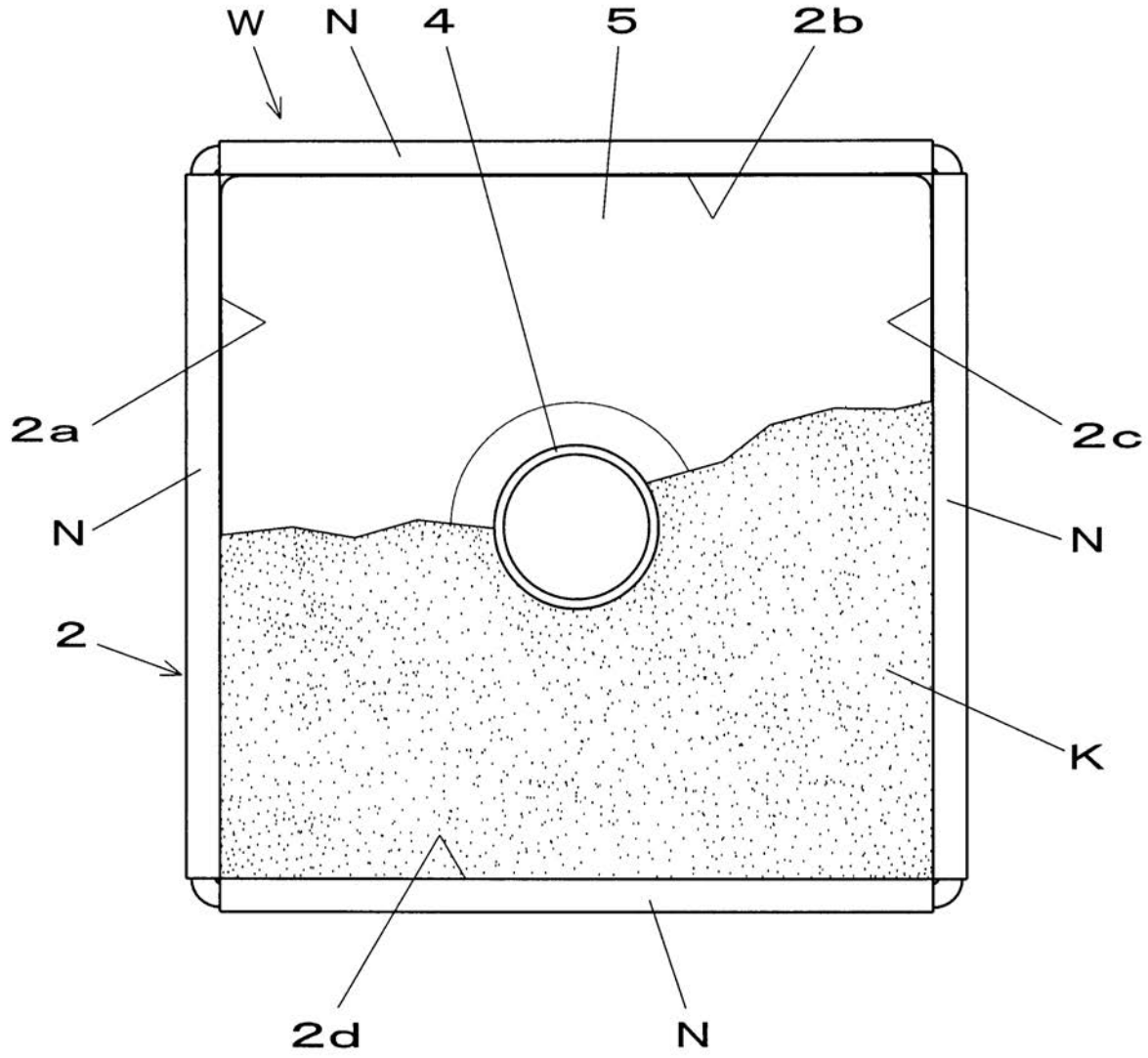
【図１１】



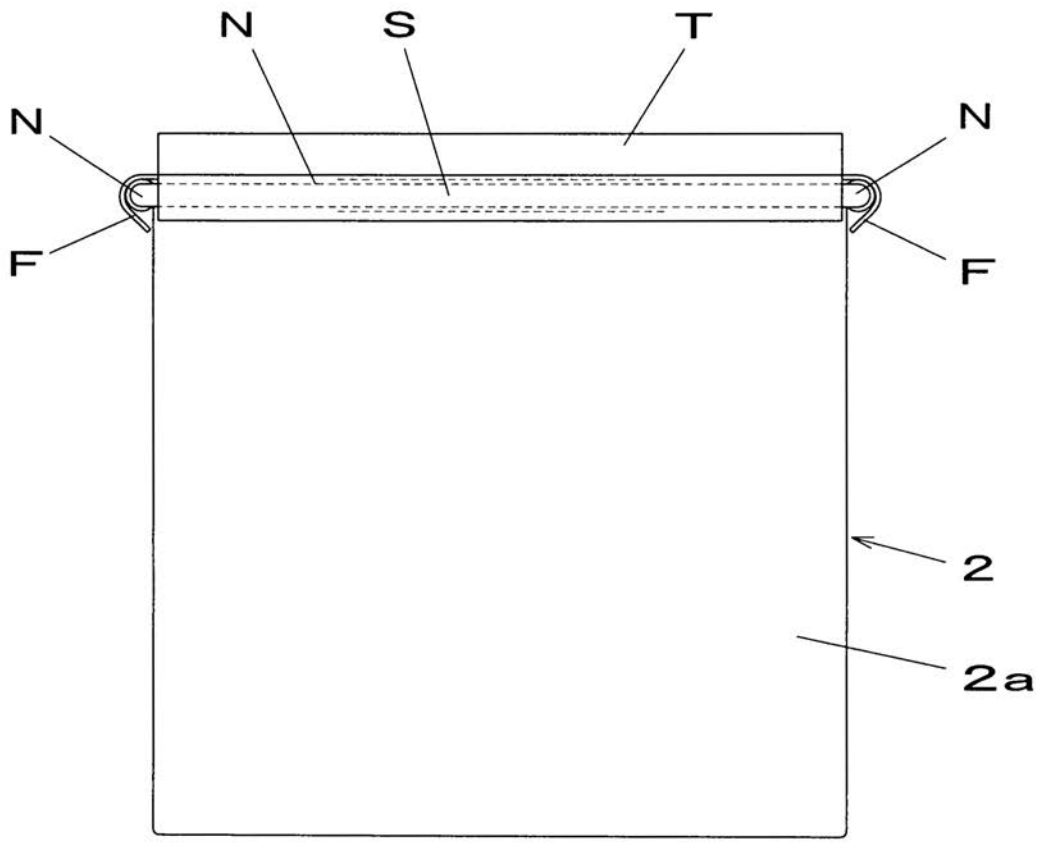
【図１２】



【図１３】



【図１４】



【図１５】

